

2 学費軽減申請書(第1号様式)等 記入上の注意

第1号様式の1

**必ず、最新の様式を用いてください。**

年 月 日

学校設置者 理事長(代表者)様

学 費 軽 減 申 請 書  
(学費補助金申請用)

学費軽減について、「個人番号」又は「所得を証明する書類」等を添えて申請します。

生徒 ID(学校記入)		整理番号(学校記入)	
ア		イ	
学校名	エ 高等学校 中等教育学校(後期課程) 専修学校高等課程 中学校 小学校 中等教育学校(前期課程)	課程	学科・分野
		全日制 通信制	
		学年	クラス
		年	
ふりがな		ふりがな	
申請者氏名 (保護者等)		生徒氏名	
生徒住所		電話 番号	

【保護者等の収入の状況について】

収入の状況について書類を添付する保護者等の氏名、生徒との続柄及び住所を記載してください。

保護者等	氏名	生徒との続柄	氏名	生徒との続柄
	住所		住所	
	申請する年の1月1日現在の市区町村までの住所		申請する年の1月1日現在の市区町村までの住所	
	都 道 市 区 府 県 町 村		都 道 市 区 府 県 町 村	

添付書類について、該当するものを選択してください。

次の保護者等の個人番号カードの写し等又は課税証明書を添付します。		キ
保護者(両親)2名分	(生徒が未成年(18歳未満)であり、親権者(両親)が2人存在する場合)	
保護者1名分	(離婚、死別により親権者が1人または親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、もう一方の親権者の書類を添付できない場合)	
未成年後見人__名分	(親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合)	
生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)(両親等)2名分 (生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合)		
生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)1名分 (生徒が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合。入学時点で生徒が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合。生徒が成人であり、未成年の時点で親権者が1人だった場合。生徒が成人であり、未成年の時点で親権者又は未成年後見人が存在しなかった場合。等)		
生徒本人 (親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合)		

※ 個人番号カードの写し等を添付する場合は、第1号様式別紙1に貼付の上、必要事項を記載の上、提出します。ただし高等学校等就学支援金申請時に同書類を添付している場合、または高等学校等就学支援金オンライン申請システム(e-Shien)に個人番号を入力している場合は、該当箇所を選択のみを行い、書類は添付しません。なお、高等学校等就学支援金申請時に提出している個人番号について、本補助金の審査に利用することを同意します。

※ 転編入学等により、入学金納付の義務がある且つ過去に神奈川県生徒学費補助金において入学金補助を受給したことがない場合は、第1号様式別紙2を記載の上、併せて提出します。(新1年生の申請においては記載しません。)

学校受付日(学校記入)

ウ

年 月 日

○ 事務担当者記入欄

- ア 就学支援金のログインIDを記載してください。
- イ 整理番号は、0001番から通し番号を記載してください。（第4号様式別紙2の整理番号と同様）
- ウ 申請書には学校の受付日を記載してください（ゴム印可）。

○ 保護者記入欄の確認

- エ 「学校名」、「学科・分野」、「学年」、「クラス」は正しく記載し、在籍する学校の種別や「課程」に正しく○をつけていますか。
- オ 個人番号カード等の写し又は課税証明書の添付が必要な保護者は、この欄に氏名を記載する保護者と一致しますか。
- カ 令和5年1月1日時点の居住地が記載されていますか。
- キ 添付書類について該当するものを選択する欄にチェックがあり、書類が添付されていますか。（個人番号カードの写し等を選択し、かつ今回の申請に合わせて提出する場合には、その書類を確認します。）

課税証明書を提出する場合であって、一方の保護者が住民税所得割非課税かつ控除対象配偶者のため書類を添付しない場合には、「保護者（両親）2名分」にチェックし、その右余白に「一方の保護者は住民税所得割非課税のため書類は添付しません。」と記載してください。

- \* 保護者がやむを得ない事情により学校の定めた期限までに申請できなかった場合は、保護者が申請書余白に理由を記載します。（申請書の右上など。）

○ その他

- ・ 学校において申請書の補正を行う場合は、保護者了承のもと、訂正箇所に二本線を引き、同じ欄内の余白に正しく記入してください。
- ・ 本申請書は、保護者から受領後、学校にて保管してください。県へ送付する必要はありません。

## 個人番号カード(写)等貼付台紙

イ

私立学校生徒学費補助金申請のため、保護者等の個人番号を\_\_名分提出します。

個人番号カードの写し又は通知カードの写しを貼り付けた上で、**太枠**の箇所(個人番号提出人数、個人番号、氏名、生年月日)を手書きで記載してください。

学校	名称	
	種類・課程・学科等	ア
	整理番号	
生徒	ふりがな	
	氏名	ウ
	学年・クラス・出席番号等	
保護者等	個人番号	<p style="text-align: center;"><b>保護者等の</b></p> <p style="text-align: center;">個人番号カード(裏面)写し貼付欄</p> <p style="text-align: center;">《通知カードは原則として使用できません。》</p> <p style="text-align: center;">ただし、注②に該当する場合は使用できます。</p> <p style="text-align: center;">オ</p> <p style="text-align: center;"><b>個人番号が記載されている面を上にして、</b></p> <p style="text-align: center;">貼り付けてください。</p>
	氏名	
	生年月日	
	昭和 平成	
	__年__月__日	
工		
保護者等	個人番号	<p style="text-align: center;"><b>保護者等の</b></p> <p style="text-align: center;">個人番号カード(裏面)写し貼付欄</p> <p style="text-align: center;">《通知カードは原則として使用できません。》</p> <p style="text-align: center;">ただし、注②に該当する場合は使用できます。</p> <p style="text-align: center;"><b>個人番号が記載されている面を上にして、</b></p> <p style="text-align: center;">貼り付けてください。</p>
	氏名	
	生年月日	
	昭和 平成	
	__年__月__日	

注) ①個人番号カードの写しが提出できない場合は、個人番号が記載された住民票の写し又は住民票記載事項証明書等を本台紙と併せて提出願います。

②通知カードの記載事項(氏名、住所、生年月日、性別、個人番号)を変更すべき事由が発生しておらず、記載事項に変更がない場合、または、デジタル手続法の施行日(令和2年5月25日)以前に通知カードの変更手続が完了している場合に限り、個人番号カードの写しの代わりに通知カードの写しを添付することができます。

○ 事務担当者記入欄

ア 学校の「名称」、「種類・課程・学科等」、「整理番号」を記載してください。

○ 保護者記入欄の確認

イ 個人番号カード等を提出した保護者の人数は記載されていますか。

ウ 「ふりがな」、「氏名」、「学年・クラス・出席番号等」は記載されていますか。

エ 「個人番号」、「氏名」、「生年月日」は記載されていますか。

オ 個人番号カード等の写しは貼り付けられていますか。

○ その他

- ・ 学校において申請書の補正を行う場合は、保護者了承のもと、訂正箇所に二本線を引き、同じ欄内の余白に正しく記入してください。
- ・ 就学支援金の申請で登録(提出)済の場合は、提出不要です(そのため、基本的に、学費補助金の申請において提出は想定していません)。

年 月 日

学校設置者 理事長(代表者)殿

ア

## 申告書

1 私立学校生徒学費軽減事業補助金において、入学金補助を受給したことがありません。

2 \_\_\_年\_\_\_月\_\_\_日貴校に入学するにあたり、入学金を納付しました。

ア

3 貴校に入学する前の高等学校等の在学期間は以下の通りです。

学校名	在籍期間	学校の種類・課程・学科
立	平成 年 月 日 令和 ～平成 年 月 日 令和	
立	平成 年 月 日 令和 ～平成 年 月 日 令和	

イ

4 この申告書の記載内容は、事実と相違ありません。また、この申請書に虚偽の記載があった場合には、学校設置者の求めに従いその全額を即時返還します。

ウ

申請者氏名 \_\_\_\_\_

生徒氏名 \_\_\_\_\_

○ 保護者記入欄の確認

ア 日付は正しく記載されていますか。

イ 高等学校等の在学期間が正しく記載されていますか。

ウ 申請者氏名、生徒氏名が正しく記載されていますか。

○ その他

・ 学校において申請書の補正を行う場合は、保護者了承のもと、訂正箇所に二本線を引き、同じ欄内の余白に正しく記入してください。

・ 本申告書は、保護者から受領後、学校にて保管してください。県へ送付する必要はありません。

令和4年度より新設された様式です。

第1号様式別紙3

学校設置者 理事長(代表者)殿

### 健康保険証貼付台紙

生徒本人のほか、15歳以上23歳未満の扶養している子ども(中学生を除く)2名分、合計3名分の健康保険証を提出します。また健康保険証を提出した子どもについては、保護者等が扶養しています。

保険証の写しを貼り付けた上で、**太枠**の箇所を手書きで記載してください。

		生徒 ID(学校記入)	整理番号(学校記入)
		<b>ア</b>	<b>イ</b>
学校名	<b>ウ</b>	高等学校 中等教育学校(後期課程) 専修学校高等課程 中学校 小学校 中等教育学校(前期課程)	学科・分野
		課程 全日制 通信制	学年 年
保護者等	氏名	生徒との続柄	氏名
		<b>エ</b>	生徒との続柄

生徒本人	氏名	<b>生徒本人の</b> <b>健康保険証の写し貼付欄</b>  ※保険者番号及び被保険者等記号・番号が 読み取れないように黒塗りしてください。
	生年月日	
	職業・学校名・学年等	
1人目 15歳以上23歳未満の扶養している子ども(中学生を除く)	氏名	<b>オ</b>  <b>15歳以上23歳未満の扶養している子ども(中学生を除く)の</b> <b>健康保険証の写し貼付欄</b>  ※保険者番号及び被保険者等記号・番号が 読み取れないように黒塗りしてください。
	生年月日	
	職業・学校名・学年等	
2人目 15歳以上23歳未満の扶養している子ども(中学生を除く)	氏名	<b>15歳以上23歳未満の扶養している子ども(中学生を除く)の</b> <b>健康保険証の写し貼付欄</b>  ※保険者番号及び被保険者等記号・番号が 読み取れないように黒塗りしてください。
	生年月日	
	職業・学校名・学年等	

○ 事務担当者記入欄

- ア 就学支援金のログインIDを記載してください。
- イ 整理番号は、0001番から通し番号を記載してください。（第4号様式別紙2の整理番号と同様）

○ 保護者記入欄の確認

- ウ 「学校名」、「学科・分野」、「学年」、「クラス」は正しく記載し、在籍する学校の種別や「課程」に正しく○をつけていますか。
- エ 「保護者等」の記載内容は、学費軽減申請書と一致していますか。
- オ 次の内容がすべて満たされていますか。
  - ・ 健康保険証の写しが3人分貼付されている。
  - ・ 生徒本人及びその他扶養している子ども2人（計3人）が要件を満たしている。

<生年月日> ← 健康保険証の写しで確認してください。

**平成12年4月3日～平成20年4月2日（令和5年度の条件）**

- ・ 健康保険証の写し（3名分）の被保険者（世帯主）が保護者等と一致している。  
ただし、国民健康保険の場合で世帯主が祖父母等、保護者等以外の場合、健康保険証を提出した子どもを保護者等が扶養していれば、世帯主と保護者等が一致してなくても構いません。
- ・ 健康保険証の次の項目を読み取れないよう黒塗りとしてある。
  - 「保険者番号」「被保険者当記号・番号・（枝番）」
  - 申請者が黒塗りをしていない場合には、恐れ入りますが、学校において黒塗りをしてください。

<健康保険証の例>

（黒塗り前）

健康保険 被保険者証	家族(被扶養者)	令和2年4月10日交付
記号 12345678	番号 123 (枝番) 1	
氏名	神奈川 花子	
生年月日	平成16年8月10日 ← ①	
性別	女	
認定年月日	令和2年4月1日	
被保険者氏名	神奈川 太郎 ← ②	
事業所名称	株式会社 神奈川商事	
保険者番号	12345678	
保険者名称	〇〇保険協会 神奈川支部	
保険者所在地	〇〇市〇〇町1-2-3	印

（黒塗り後）

健康保険 被保険者証	家族(被扶養者)	令和2年4月10日交付
記号 [黒塗り]	番号 [黒塗り] (枝番) [黒塗り] ← ①	
氏名	神奈川 花子	
生年月日	平成16年8月10日	
性別	女	
認定年月日	令和2年4月1日	
被保険者氏名	神奈川 太郎	
事業所名称	株式会社 神奈川商事	
保険者番号	[黒塗り] ← ②	
保険者名称	〇〇保険協会 神奈川支部	
保険者所在地	〇〇市〇〇町1-2-3	印

- ① … 平成 **12年4月3日～平成20年4月2日**の間にあるか
- ② … 被保険者（世帯主）が保護者等と一致しているか
- ③及び④ … 黒塗りされているか

（申請者が黒塗りをしていない場合は、恐れ入りますが学校で御対応ください）

○ その他

- ・ 学校において申請書の補正を行う場合は、保護者了承のもと、訂正箇所二本線を引き、同じ欄内の余白に正しく記入してください。
- ・ **別添1「申請の手引き(令和5年5月)」6ページも必ず御確認ください。**